

令和5年度事業報告

1 概要

令和5年度は、「第六期中期計画」（計画期間4年）の二年目であり、前半の折り返し地点である。法人・各園は、計画に掲げた『目指すべき姿（ビジョン）』の実現に向けて、「法人ガバナンスの改善」「当事者目線の障がい福祉」「津久井やまゆり園の再生」「秦野精華園・希望の丘はだのの経営基盤の安定化」「人財（材）の確保」「次期指定管理者募集」の6つの重点プロジェクトに加え、法人・各園による41の重点施策等に取り組み、神奈川県が目指す「当事者目線の障がい福祉」「ともに生きる社会かながわ」の実現に貢献できるようその取組みを進めてきた。

具体には、法人事務局・統括管理室では、外部コンサルテーションの積極的活用（重1-5）、法人祈りの日と鎮魂のモニュメントの活用（法7）、秦野精華園では、地域生活支援の充実（重2-7）、就労移行支援・就労支援の充実（秦3）、希望の丘はだのでは、地域生活移行支援と通過型施設運営の実施（重2-6）、在宅者等地域生活継続支援としての生活介護事業の展開（秦6）、津久井やまゆり園では、当事者目線による意思決定支援の推進（重2-10）、地域生活移行の推進と入所施設機能の分散化（重2-11）などで目標以上の成果を上げている。

その一方、法人理念の見直し（重1-1）、公正・透明な職場づくりの推進（重1-4）、厚木精華園の防災に関する地域連携（厚3）、津久井やまゆり園におけるグループホーム事業の再整備（重2-13）については、2年間の達成状況では十分でないため、後半に向けて、課題解決等をより一層進めていく予定である。

また、法人経営については、年度当初の約1億4,000万円の歳出超過予算を踏まえ、年間を通して、法人・各園で利用者定員の充足と歳出の削減等に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の影響等で落ち込んだ利用者の確保は期待通りに改善せず、諸物価高騰の影響も受けたため、当初の赤字額より半減に留まる決算状況となっている。

平成6年度は、3年ごとの介護報酬改定等の影響を反映して、現時点で当初予算の赤字額は対前年度比▲1億円の、約4,000万円の歳出超過と大幅に改善・縮小しているが、法人・各園における構造的な経営改善の取組みについては、昨年に引き続き、継続して実施していく予定である。

こうした中、昨年8月に公表した厚木精華園、同11月・12月に連続して愛名やまゆり園で職員による利用者虐待が発生した。特に11月の虐待事案では、利用者に対する暴力行為で職員が逮捕されただけでなく、12月14日に県議会厚生常任委員会でこの件に係る参考人招致が行なわれ、厳しい追及を受けた直後に2度目の利用者虐待が同園で発生、法人・園の危機意識の欠如等を厳しく指摘される結果となった。加えて、この2つの事案を調査する中、計6件の利用者虐待が関係市町村によって虐待認定されるに至り、3月29日、神奈川県から障害者総合支援法第50条に基づく「新規入所の受入れ停止（6か月）」という重い行政処分を法人始まって以来、初めて受ける結果となってしまった。

法人・園は、「愛名やまゆり園の虐待事案に係る改善計画（第2次）」を4月30日に神奈川県に提出、56項目の具体的な改善項目を定め、現在、その改善に向けて、法人全体でその取り組みを進めている。さらに法人だけの取組では信頼回復は困難と判断し、4月1日付けで外部弁護士等の有識者による第三者委員会を法人として設置し、日弁連ガイドラインに基づく公平中立な検証を進めているところである。

また、神奈川県は、昨年12月に「県立障害者支援施設の方向性ビジョン」を策定し、今後の県立障害者支援施設は、福祉科学研究や人材育成へのその役割を転換するとともに、県立施設として継続する施設については、地方独立行政法人化を進めると公表した。特に厚木精華園については、民間法人への移譲という方向性が示されるとともに、愛名やまゆり園についても小規模化の上、再整備が予定されているため、今後、当該施設の移譲、再整備等に向けた調整等が大きな課題となっている。

2 重点施策の取組状況

(1) 全体評価

評価 所属	A	B	C	D	E	計
法人事務局	4 (20.0%)	11 (55.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	20 (100.0%)
秦野精華園 希望の丘はだ の	5 (62.5%)	3 (37.5%)				8 (100.0%)
厚木精華園	1 (16.6%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)		6 (100.0%)
愛名 やまゆり園	2 (22.3%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)		9 (100.0%)
津久井 やまゆり園	5 (50.0%)	4 (40.0%)		1 (10.0%)		10 (100.0%)
計	17 (32.1%)	22 (41.5%)	9 (17.0%)	4 (7.5%)	1 (1.9%)	53 (100.0%)

○評価基準（法人事務局・各園共通）

評価	達成状況
A：事業計画どおり達成できた	100%以上
B：概ね達成できた	80%以上 100%未満
C：あまり達成できていない	60%以上 80%未満
D：達成できていない（未着手を除く）	60%未満
E：未着手	0%

(2) 令和5年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業厚愛津	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎○○○	重1-1	法人理念の見直し		<p>①理念の点検・見直し 県による「当事者目線の障害福祉推進条例」などの当事者目線福祉の諸施策・取組みなどの方向性を見極めるため、検討作業の停止を決定した。</p>	E	
◎	重1-2	理事会・評議員会運営の充実強化		<p>①②③理事会・評議員会運営の充実強化と法人内公開 昨年開始した理事会・評議員会における審議の法人公開を継続するとともに、運営諸規程に基づく報告等を厳密に施行するなど法令遵守や情報開示の徹底を実施した。</p>	B	
◎○○○	重1-3	理事長と職員との意見交換の実施		<p>①理事長と職員の意見交換の実施 ・女性職員との意見交換会を2回実施し、女性生活課職員の離職防止のための意見の実現への取組を4施策(地域限定、介護休見直し、日勤職場条件、普通免許助成)を実施した。 ・一般職員との意見交換会を2回実施し、風通しの良い職場づくりに努めた。</p>	B	
◎○○○	重1-4	公正・透明な職場づくりの推進		<p>①公正・透明な職場づくりの推進 ・4半期ごとの窓口案内等のPR及び採用時実施研修で、意義やフローを理解させる取組みを実施した。 ・愛名での虐待事案の改善対策の取組として、支援の振り返りと虐待通報に関する調査を実施した。 ・愛名の虐待事案の原因の1つとして、風通しの悪い職場があり、推進ができたとは評価できない結果となった。</p>	D	
◎○○○	重1-5	外部コンサルテーションの積極的活用		<p>【厚木】 ・今年度の県コンサルテーション事業は①10/17「パラダイムシフト後の支援者としての基本姿勢の確認」②12/11「尊厳について/リダーに求められる資 質について考える」をテーマに育桜福祉会佐野氏を講師に2回実施。 ・意思決定支援の取組みで県意思決定支援実践研修事業を申請。意思決定支援専門アドバイザーが意思決定支援会議に出席し、助言・指導を受けた(9/27・2/15) 【愛名】 ・外部コンサルテーション10回(5/17,6/26,7/19,8/9,9/20,10/28,11/8,12/20,1/17,3/13) ・外部講師による強度行動障害等に関する研修を4回(6/14,9/28,11/16,1/18)実施し、合わせて95名が参加した。 ・9/11県のコンサルテーション事業にて、各寮の開錠の取り組みの現状と報告を行ない今後に向けての具体的な計画・方法についてもアドバイスをいただいた。 ・12/7県のコンサルテーション(法的な観点からの説明)を受ける。講師の弁護士から、原則開錠ではあるが、安全配慮義務については個別の状況を天秤にかけてその都度判断することが現実的であるとアドバイスをいただいた。 【津久井】 ・令和4年度末で津久井やまゆり園再生基本構想に基づいた意思決定支援は終了したが、園内に主任級以上の職員が参加する意思決定支援プロジェクト委員会を設置。SDM-Japan(日本意思決定支援ネットワーク)の協力を受けながら、個別支援計画書への意思決定支援の位置づけと、関連書式の整理を検討した。 ・県コンサルテーション事業を活用し、当事者の方に来園いただき、施設支援の改善につなげるべく、第三者の目を通して支援現場をご覧いただき、忌憚のないご意見をいただいた。(年計3回実施)</p>	A	

(2) 令和5年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業番号	愛津	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎○○○○	○	理事会・評議員会 障害当事者・利用者の参画推進		<p>①理事会・評議員会 現行理事・評議員の改選時期は令和7年6月となるため、今年度内の取組みは未実施。</p> <p>②障がい当事者を講師とした職員研修 ・9月に「当事者から見た障がい福祉と相談支援専門員に期待すること」を実施した。</p> <p>・11月に「これからの未来の福祉を考える障がい福祉研修」「とともに生きる社会を考える障がい福祉研修」から改題)を実施した。</p> <p>③運営協議会 各園で検討したが、今年度は未実施。</p>	C	
◎○○○○	○	県立障害者支援施設等における寮・ユニット玄関開錠等の推進		<p>①寮・ユニット玄関開錠の推進 【厚木】 県の原則開錠に係るコンサルテーションを12月20日に実施。この内容を受け、生活課入口は夜間22時～5時は施錠で統一。非常口はサムターン錠である為、センサーを設け、日中開錠は継続して出来ている。</p> <p>【愛名】 人感センサーの設置等環境整備を行い、各寮ごとに開錠時間を増やした。平日日中は原則開錠を達成している寮もあるが、開錠中は見守り職員の配置を要する寮・2階からの転落予防改修に向けて、さらなる試行とアセスメントを要する寮もあった。</p> <p>9/11県のコンサルテーション事業にて、各寮の開錠の取り組みの現状と報告を行ない今後に向けての具体的な計画・方法についてもアドバイスをいただいた。</p> <p>12/7県のコンサルテーション(法的な観点からの説明)を受ける。講師の弁護士から、原則開錠ではあるが、安全配慮義務については個別の状況を天秤にかけてその都度判断することが現実的であるとアドバイスをいただいた。</p> <p>【津久井】 引き続き24時間ユニット玄関開錠の取り組みを実施した。また、利用者自らがカードキーを使用して、外からユニット内へ自由に入るための取り組みを進めた。(対象者4人)</p>	B	
◎○○○○	○	支援改善担当理事による支援改善の推進		<p>①身体拘束解除に向けた取組 11月に、愛名において、当事者目線の支援推進検討委員会で意見聴取と指導を実施した。</p> <p>②虐待の再発防止に向けた取組 11月と1月に厚木で発生した虐待事案の再発防止として、園職員との意見聴取と指導を実施した。</p> <p>11月に愛名で発生した虐待事案の再発防止として、園職員との意見聴取と指導を実施した。</p>	B	

(2) 令和5年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業番号	愛津	厚津	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎○○○○	○	○	重5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 離職抑制への取組 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">実施</div> <div style="font-size: 2em;">↑</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">評価</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;"> 法人立施設職員の制度等の検討 </div> </div>	C	<p>①積極的な職員採用 旧芹が谷職員の法人内配置により欠員の大幅な解消ができたが、4半期ごとの新規採用には引き続き努めた。また、女性生活課職員の意見の実現として、勤務地(地域)限定職員の採用制度の導入を実施した。さらに、福祉人材の応募は少数である現状から派遣事業者の導入を決定し、さらなる確保に努めた。しかし、積極的な取組みを行ったが、欠員を埋めることができなかった。</p> <p>②事務職員の人材確保・⑤業務の集約化とアウトソーシングの検討 2名の事務職員を増員した。また、総務部門の業務の集約化とアウトソーシングに向けて、新規勤怠管理システム導入に向けた検討を開始したが、予定どおりのスケジュールでは進められなかった。</p> <p>③⑤離職抑制への取り組み・理事長と女性職員の意見交換会 ・メンター制度については、4月から導入し、試行を兼ねて実施した。 ・理事長と女性生活課職員との意見交換会での意見から実現に向けた重点取組を決定し、4施策(地域限定、介護休業直し、日勤職場条件、普通免許助成)を実施した。しかし、効果は低かった。</p> <p>④法人立施設の就業体制・制度の検証・検討 法人事務局による法人立管理職員へのヒアリングを実施し、施策希望の課題や優先順位などを聴取し、検討したが、実現には至らなかった。</p> <p>⑥給与号俸の見直し等、人事体系に係る検討を推進するための外部コンサル導入 コンサル業者と契約締結し、コンサルの提案・助言を受け、全園・各階層から選出した委員による人事体系検討委員会を6回開催した。県最低賃金の上昇の見通しが難しいため、本棒の見直しは見送ることとした。</p>
◎○○○○	○	○	法1	会議の見直しと効率化	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">実施</div> <div style="font-size: 2em;">↑</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">検証</div> </div> </div>	C	<p>①新生活様式に適合する会議 コロナ禍による新しい生活様式により開始したオンライン(zoom)会議やペーパーレス会議を実施し、定着を図った。</p> <p>②音声入力導入 チャットGPT等の技術革新や高齢系介護施設での機器導入などの情報収集に努めたが、進展させることはできなかった。</p>
◎○○○○	○	○	法2	成年後見制度の普及啓発・推進	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">検証</div> <div style="font-size: 2em;">↑</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">検証</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;"> 検討・準備体制強化 </div> </div>	B	<p>①推進担当 各園との兼務ではあるが3名の職員を配置し、非常勤を含む4名と、2名の協力職員による体制を構築した。</p> <p>②職員研修・人材育成 成年後見制度の意義を理解させるため、全園を対象とした職員研修を2回実施した。</p> <p>③⑤各園の制度活用・利用者の通帳管理の整理 推進担当の後見人経験者である非常勤職員による各園の整理支援を実施し、全園で預り金の後見人等への移管促進に努めた。</p> <p>④法人後見の推進 秦野市で法人後見事業を実施している団体からのサポートを受け、既の実績のある方を講師を招いた研修や推進担当職員をその団体に派遣して研修を実施した。</p>

(2) 令和5年度事業計画取組状況(法人事務局・統括管理室)

事業番号	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎○○○	防災・防犯対策の充実・強化	達成	<p>①BCPの再点検 現状の各市等の公開しているハザードマップ等にBCPが対応できているか等の再点検や各事業所BCPの整備に努め、地域住民の第一次避難への要望に応える見直しを実施した。</p> <p>②防犯体制の再点検 策定して4年が経過した法人の防犯マニュアルを改定し、防犯関係機器の設置や不審者・不審物事案の増加などを追加して、強化に取り組んだ。</p> <p>③防犯訓練と防犯機器の点検 9/11に防災主体の法人総合防災訓練、11/24に防犯主体の訓練を法人全体で実施するとともに、毎月実施している各園訓練に防犯機器の点検を実施した。</p>	A	
◎○○○◎	法人祈りの日の継続実施と鎮魂のモニメントの活用	実施 → 達成	<p>①法人祈りの日 毎月26日の「法人祈りの日」に全職員で黙とう等を実施した。</p> <p>②鎮魂のモニメントの活用 法人主催研修では8月実施のフレッシュマン研修の際、参加職員全員で献花と黙とうを実施した。</p> <p>民生委員や社会福祉協議会、学校関係者、施設職員の施設見学等を計25回(延べ1,597人)受入れ、黙とう・モニメントの説明を実施した。</p> <p>③津久井事件遺族対応 7月の津久井追悼式で遺族対応を実施した。</p>	A	津久井やまゆり園
◎○○○◎	感染症対策の充実強化	評価 → 達成	<p>①BCPの作成 昨年度策定した全園全事業所の22の新型コロナウイルス感染症BCPについて、5類移行による再確認とBCPの一部変更を実施した。</p> <p>②対策備品等の再確認 5類移行に適合した新型コロナウイルス対策物品の確認を実施した。</p> <p>③面会対応ICT機器の導入 面会対応等のICT機器は、引き続き機器の購入等を推進した。</p>	A	

(3) 令和5年度事業計画取組状況(秦野精華園・希望の丘はだの)

事業	秦厚愛	津	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎			秦3	就労移行支援・就労支援の充実	<p>支援実施</p> <p>実施</p> <p>就労支援体制の再編検討</p> <p>通所支援への特化</p> <p>実施</p> <p>検証</p> <p>再編調整</p>	<p>令和5年度より、就労移行支援事業を秦野精華園チャレンジセンターに移して運営を開始。</p> <p>令和5年度6名のうち、5名が就労に結び付き、令和6年4月からは希望の丘はだのの生活訓練事業から3名が移行予定。</p>	A	
○◎			秦5	こども食堂の運営（みんなの食堂ラパニスの始動）	<p>団体間調整</p> <p>週1試行</p> <p>試行継続</p> <p>評価</p>	<p>地元団体との協働運営で令和4年6月1日より毎週水曜日7:30～8:30の朝食支援を開始。みんなの食堂として高齢者の利用が継続。</p> <p>令和4年11月より月1回の火曜日夕食支援の試行を開始した。令和5年度夕食支援18:00については児童・生徒を含めた家族利用が定着し第3火曜日の夕食支援は30名程度の来店が継続。</p>	B	<p>・朝支援については高齢者や大学生等の来店が定着。月1回の夕食支援については家族単位で子どもたちの利用が定着してきている。</p>
◎			秦6	在宅者等地域生活継続支援としての生活介護事業の展開	<p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>評価</p>	<p>・機械浴7名の方が利用。</p> <p>・秦野精華園支援2課と協働で、在宅利用者家族のレスパイト目的の短期入所受入れを推進、5名の方の継続利用を定期待。</p> <p>・ひまわり利用者についても、2名が見学から短期入所の利用に繋がる。</p> <p>・主任会で検討した短期入所にかかわるアンケートを令和6年4月に実施予定。</p>	A	<p>ひびたの展開は形と変わってきた。ひまわりの利用者、ご家族の短期入所の定期利用継続が課題。</p>
◎			秦7	防災・防犯対策の充実・強化（公用車運転転前・後健康チェックの導入）	<p>準備</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>検証</p>	<p>・道交法の改定に対応する為、公用車運転転前・後のアルコールチェック導入準備を進め、全職員への周知、記録表の運用の確認を進めた結果、定着を確認。</p> <p>・外部事業所が火災にあつた際に本体総務課より応援体制がスムーズに取れるよう連携の訓練(マイク口、送迎車による秦野体育館への移送訓練)を行った。</p> <p>・秦野警察、秦野市交通安全協会の協力により、最新の道交法等の研修会をR6.3月に実施。常勤・非常勤23名の職員が受講。</p>	A	<p>・アルコールチェックの記録について年度でまとめ法に則り1年間保管の徹底。</p>

(4) 令和5年度事業計画取組状況(厚木精華園)

事業厚愛津	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	R5年度の取組状況	評価	備考
◎	重2-8	厚木精華園における地域包括支援センターとの連携・協働による地域づくりの推進	<p>●継続実施</p> <p>評価</p>	<p>①4半期に1度開催される、厚木市第2層生活協議体や地域の介護フェスタに構成員として参画した。地域包括との協働作業による地域支援53件。8050問題での精神障害者対応が9割。1割は障がい相談から地域包括へのつなぎ。地域生活継続支援中心に対応。地域見守隊における畑作業を通じて、地域高齢者とGH利用者の共同作業による取り組みの発表を法人内外で2回実施。③③民児協開催時には必ず足を運び、情報共有するとともに必要に応じアドバイスを実施。</p>	B	
◎◎	重2-9	厚木地区相談支援事業所の充実強化等	<p>●継続実施</p> <p>達成</p> <p>愛名とすり合わせ</p>	<p>・10月地域支援部長間で統合手続き(変更・廃止等届出書、運営規程、重説等書類作成)・厚木の備品の帰属確認・事務所契約の確認 ・11/8 理事会にて統合承認 ・11/9 厚木、愛名総務部長・地域支援部長で予算・人員配置の調整 ・2/2 厚木市障害福祉課と次年度業務打合せ ・2/9 厚木、愛名で統合最終確認の打合せ ・2/13 厚木精華園相談支援事業所廃止届提出</p>	A	
◎	重6	厚木精華園の次期指定管理者募集提案に向けて	<p>調査</p>	<p>R5年度当初は「再指定プロジェクト」を立ち上げ、検討を進めていたが、県立障害者支援施設の今後のあり方で当園の「民間移譲」が決まり、プロジェクトは停止した。県の方針について、利用者・家族・後見人等への説明会を実施。職員に対しても県からの説明を受けた。 当園の役割や、地域生活移行支援の取組み等は情報を共有しながら継続して進めた。</p>	C	
◎	厚1	生活課運営体制の安定・充実	<p>●ハード面改修・利用者配置等年度単位で継続実施</p>	<p>見学・体験を経て新規14名の入所受け入れを行ったが、療養型病院への移行や逝去による退所者が9名いた為、運営体制の安定までには至らなかったが、体験入所・短期入所の受け入れを積極的にを行い、前年度と比べ延べ日数が3倍となった(572⇒1723) 日中の過ごし方の充実のため、日中活動の内容や実施方法を見直した。地域生活移行の取組みとしては、生活介護事業所や就労支援B型への見学・体験を行った。 ハード面に関しては、居住棟の湿気対策として県への調査依頼や外周の植木伐採等の対策を取ったが、抜本的な改善までには至らなかった。</p>	C	
◎	厚2	高齢化・重度化に対応したグループホームの新設	<p>●事業計画策定</p> <p>実施</p> <p>確認</p> <p>見直し</p>	<p>①建設計画をR7年度からR8年度に変更したため、立地選定をするが、適した立地が見つからず継続して選定する。 ②既存日中支援型GH運営施設見学実施。、日中活動については、入居者に適した活動提供を検討し、機能維持を中心とした活動とすることを確認。その反面、住環境の検討までには至らず。 住環境については、介助浴施設導入は合意しているが、実態について状況確認に至らず。</p>	C	
◎	厚3	防災に関する地域連携		<p>①荻野地区施設連絡会については、コロナ禍の関係等により会議・訓練等開催されず。園単独で必要物資の点検及び更新物品に対応。 ②9/3 鳶尾地区総合防災訓練にGH利用者2名が参加。3/29厚木市サポート事業により防災消耗品整備。</p>	D	

(5) 令和5年度事業計画取組状況(愛名やまゆり園)

事業厚愛津	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	上半期の取組状況	評価	備考
◎	重2-9	厚木地区相談支援事業所の充実強化等	<p>検討</p> <p>評価</p> <p>厚木とすり合わせ</p> <p>統合予算計画作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 10月地域支援部長間で統合手続き(変更・廃止等届出書、運営規程、重説等書類作成)・厚木の備品の帰属確認・事務所契約の確認 11/8 理事会にて統合承認 11/9 厚木、愛名総務部長・地域支援部長で予算・人員配置の調整 12/18 厚木市と基幹相談支援センター随時契約の打合せ、統合について書類等確認を行う 1/11 厚木市に委託相談センター(荻野・睦合)、基幹相談支援センター契約書類提出 2/9 厚木、愛名で統合最終確認の打合せ 2/13 指定申請、事業所変更申請書類提出 3月 契約者、関係機関への通知 	A	
◎	重2-10	愛名やまゆり園における重度・重複障害等の専門的な支援と当事者目線の支援の取組み	<p>研修実施</p> <p>評価</p> <p>園内プロジェクトの立ち上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部コンサルテーション10回(5/17,6/26,7/19,8/9,9/20,10/28,11/8,12/20,1/17,3/13) 外部講師による強度行動障害等に関する研修を4回(6/14,9/28,11/16,1/18)実施し、合わせて95名が参加した。 9/11県のコンサルテーション事業にて、各寮の開錠の取り組みの現状と報告を行ない今後に向けての具体的な計画・方法についてもアドバイスをいただいた。 プロジェクト方式により継続実施。1個別支援計画、2住環境改善 3意思決定支援等・地域生活移行推進、4強度行動障害がい支援、5日中活動 とし、各プロジェクトを通して当事者目線の支援の取り組みを実践した。 各寮対応であった日中活動を合同で行えるようになり、開錠等に取組んだ 寮のアドバイザー派遣事業を利用して3名の利用者をモデルケースとして地域移行に向けた意思決定支援担当者会議や見学や体験を行った。寮での自治会活動では、寮ごと余暇活動の希望、食事、おやつ、園内での季節行事についての意見や希望が多く、支援に反映させるよう取組んだ他に、園全体の自治会の立ち上げに向けた支援を行い、3回開催した。 	B	
◎	重6	愛名やまゆり園の次期指定管理者募集提案に向けて	<p>検討</p> <p>プロジェクトチーム検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上半期にプロジェクトチーム立ち上げを準備し、内容検討を開始したが、寮の方向性ビジョンの検討が進行したこと及び園で虐待事件が発生し、再発防止策検討への対応が優先され、プロジェクト等の動きがとれなかった。 	C	
◎	愛2	加齢や障害の重度化に伴う寮間移行・生活環境等の見直し	<p>検討</p> <p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 加齢や障害の重度化等に伴う寮間移行について、2名の利用者の体験利用を実施。 神奈川県コンサルテーション事業を活用し、寮入りの開錠に取り組む。 11月に寮ごとに居室等環境確認表により確認実施。 デイルームに新規のソファ等購入する等寮ごとに環境改善に取り組む。また、トイレについては次年度改修するための準備に取り組む。 利用者のグループホームや外部事業所の見学を随時実施。 	C	

(6) 令和5年度事業計画取組状況(津久井やまゆり園)

事業厚愛津芹	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎	重1-8	津久井やまゆり園における事故不祥事への対応と組織活性化への取組み	<p>リスクマネジメント充実・強化 実施 → 評価</p> <p>5S活動・風通しの良い職場作り 実施 → 評価</p>	<p>①リスクマネジメント充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故不祥事研修の実施、事故不祥事防止と早期発見を周知徹底。 園内で発生した事故案件については、毎月一回開催する園の運営会議において事故報告書に基づき担当課長より報告を行い、事故内容の検証と再発防止対策を検討した。 園長からレイブンポーンネット園内お知らせ機能を使用して、虐待や不祥事故等に係るニュース記事を職員へ周知。また重大な事故等については、園の運営会議や全体職員会議等で確認した。 <p>②5S活動・風通しの良い職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度と4年度に取り組んだ「組織活性化のための5S活動」の成果を基に、「明日づくり委員会」を中心に検討を行い、整理、整頓、清掃、清潔、しつけを通じて、職場の抱える課題を解決するため、職員の意識を変え、行動変容を促した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定支援推進担当職員の兼務配置 意思決定支援の継続 個別支援計画の充実 利用者自らの意思が反映された生活の実現 利用者からの意見を園運営に反映
◎	重2-10	津久井やまゆり園における当事者目線による意思決定支援の推進	<p>意思決定支援の推進 実施 → 評価</p> <p>利用者の園運営への参画 実施 → 評価</p>	<p>①意思決定支援の継続的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度より、法人統括管理室に意思決定推進担当部長と4人の専従組織を設け、各園との兼務配置を行い、法人と各園が連携して推進できる体制を構築した。 当園では地域サービス課に意思決定支援推進担当職員を兼務配置し、利用者の意思決定支援と地域生活移行の推進に努めた。 令和4年度末で津久井やまゆり園再生基本構想に基づいた意思決定支援は終了したが、園内に主任級以上の職員が参加する意思決定支援プロジェクト委員会を設置。SDM-Japan(日本意思決定支援ネットワーク)の協力を受けながら、個別支援計画書への意思決定支援の位置づけと、関連書式の整理を検討した。 意思決定支援の担当者会議では、ご本人の望む生活の進捗状況及び今後の確認を行い、その後、グループ会議や生活課会議等にて更なる支援の確認と検討を行った。 グループ会議や生活課会議等では、必要により心理担当の出席や事前に見学員からの助言を受けるなど、多職種による検討に取組んだ。 <p>②利用者の園運営への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ピザの会(利用者自治会)活動支援の充実、納涼祭実行委員会及びびっぴーハロウィンまつりだやまゆり実行委員会へびっぴーの会役員が参加した。 利用者が園運営会議に参加し、議題等について説明した後、参加利用者から意見等を伺った。 利用者から園長と食事といったの提案を受け、園長との茶話会を適宜開催した。園長室に少人数の利用者をお誘いして、思いや願いを園長が直接伺った。 	A	
◎	重2-11	津久井やまゆり園における地域生活移行の推進と入所施設の機能の分散化	<p>地域生活移行の推進 実施 → 評価</p> <p>チャレンジ活動開始 実施 → 評価</p> <p>入所施設機能の分散化 実施 → 評価</p> <p>通所事業所等への移行 実施 → 評価</p>	<p>①地域生活移行の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内のグループホームへ移行された利用者2人 チャレンジ活動の取組、事前の情報提供、計画の策定と実施。 OGH見学：9回 OGH体験：9回 生活介護事業所見学：9回 生活介護事業所体験：11回 相模湖地区社協ちよこつとボランティア契約数6件：実績15件 地域貢献(チラシ配り)：3回 地区総合防災訓練：2回 津久井支援学校ブルーベリー畑清掃：2回 千木地区運動会：8件 相模湖地区社協福祉のつどい：2件 音楽教室への参加(地域資源の活用)：3件 ちよこつとボランティア交流会：1件 ※全て延数 <p>②入所施設機能の分散化</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所利用者の外部にある生活介護事業所等を10人が利用した。 在宅障がい者等の生活介護(通所)の積極的な受入れ。契約者は10人。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の地域社会との関わり 入所施設機能の実質的な「昼夜分離」

(6) 令和5年度事業計画取組状況(津久井やまゆり園)

事業厚愛津芹	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
◎	重2-12	津久井やまゆり園における権利擁護の推進と身体拘束及び虐待の防止	<p>権利擁護の推進、身体拘束及び虐待の防止</p> <p>実施 → 評価</p> <p>利用者支援評価委員会の開催</p> <p>実施 → 評価</p> <p>10月・3月開催</p>	<p>令和5年度の取組状況</p> <p>①権利擁護の推進、身体拘束及び虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 虐待防止研修の実施、行動制限判定会議及び虐待防止委員会を開催した。 <p>②利用者支援評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月と3月に委員会を開催。第三者委員、オンプズマン、みどり会役員が委員として参加。園の支援に関する取組みについて報告を行い、意見やアドバイスを伺った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束01に向けた取組の推進 虐待の根絶と迅速な対応の徹底
◎	重2-13	津久井やまゆり園におけるグループホーム事業の再整備	<p>新グループホームの開設</p> <p>検討・準備</p>	<p>①新グループホームの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井やまゆり園利用者の地域生活移行の受け皿となるグループホームを令和7年度中に建物完成、令和8年度当初に開設を目指す。 	D	<ul style="list-style-type: none"> 園利用者の地域生活移行の受け皿となる施設を整備 支援者の確保が課題
◎	重2-14	津久井やまゆり園における直営施設の再整備	<p>放課後等デイサービス事業所みらいのあり方検討</p> <p>検討・準備</p> <p>ファンファン生活介護従たる事業所開設</p> <p>検討・準備</p>	<p>①放課後等デイサービス事業所みらいのあり方検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続性のある事業のあり方を検討した。 <p>②生活介護事業所ファンファンの従たる事業所開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井やまゆり園利用者の地域生活移行の受け皿となる生活介護従たる事業所の開設に向けて検討した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各直営事業の安定運営を目指す 園利用者の地域生活移行の受け皿となる施設を整備
◎	津1	津久井やまゆり園の円滑な運営	<p>令和5年度以降に向けた更なる園の円滑な運営と支援サービスの向上</p> <p>実施 → 達成</p>	<p>①令和5年度以降の指定管理期間に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 更なる園の円滑な運営と支援サービスの向上を目指すため、主任級以上の職員が参加する当事者目標の支援会議を設置。各部署に分かれて課題の検証と今後の取組みについて検討した。 意思決定支援プロジェクト委員会(チャレンジ活動・地域生活移行) 個別支援計画(運用・管理) 日中活動(日中活動の充実、在宅通所利用者受入れ) みどり会(家族会)・後援会との更なる連携強化 園からみどり会への積極的な情報発信と役員との連携を強化。また、納涼祭実行委員会及びハッピーハロウィンまつりやまゆり実行委員会へみどり会役員が参加した。 後援会からは、園や各事業所で行う行事費用への助成や地域との交流費用に対して助成を受けた。また津久井やまゆり園事件に係る追悼行事等について供花代等の助成を受けた。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 園からみどり会(家族会)・後援会との更なる連携強化 祭実行委員会及びハッピーハロウィンまつりやまゆり実行委員会へみどり会役員が参加した。 後援会からは、園や各事業所で行う行事費用への助成や地域との交流費用に対して助成を受けた。また津久井やまゆり園事件に係る追悼行事等について供花代等の助成を受けた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 県に提案した事業計画の具現化 みどり会(家族会)及び後援会との密な連携 ご家族からの意見を園運営に反映
◎	津7	「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発、福祉教育への貢献	<p>講演会の実施、見学者の受入れ</p> <p>実施 → 評価</p>	<p>①ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発、福祉教育への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 県職員や相模原市教職員、他法人職員を対象とした園長による講演を計11回開催した。 市社協と連携し、市内中学校の教職員を対象とした園長による「みんないいひと体験講座」(福祉講座)を計3回開催した。 千木良小学校と交流を深めた。(ポニー乗馬体験、クリスマスコンサート、かかし座、福祉教室) 津久井支援学校と交流を深めた。(ブルーベリー畑の管理、相模湖公園の清掃) <p>②見学者の積極的な受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設職員や民生委員等による団体の施設見学を計25回受入れた。見学者の延べ人数は1,597人 	A	

(6) 令和5年度事業計画取組状況(津久井やまゆり園)

事業	厚愛	津	芹	番号	重点施策名	令和5年度事業計画	令和5年度の取組状況	評価	備考
							<p>①地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳馬場自治会清掃へ参加した。(年6回) ・6月に「にじいろでGO」との交流会を開催した。 ・6月に第8回「三ヶ木ほたる祭り」へ参加した。 ・8月に千木良地区納涼祭へ参加した。 ・8月に千木良中央こども神輿が来園し交流した。 ・8月に柳馬場こども神輿が来園し交流した。また月読神社祭へ出店した。 ・9月に鎌倉女子大学佐藤ゼミとの交流会を開催した。 ・10月に千木良地区運動会へ参加した。 ・11月に芹が谷やまゆり園「せりやまフェス2023」へ出店と利用者が参加した。 ・津久井支援学校との交流(ブルーベリー畑の管理、相模湖公園の清掃) ・すこやかサービス(地域事業所向けの普通救命講習)を実施した。(年13回) ・相模湖地区社会福祉協議会「ちよこっとボランティア」を受入れ、利用者の散歩の付添いなどに協力頂いた。 <p>②地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市役所での事業所販売会に出店した。 ・相模湖地区社会福祉協議会主催「福祉のつどい」に出店した。 ・相模湖地区社会福祉協議会「ちよこっとボランティア」活動に協力した。 ・地域の皆様に「地域交流ゾーン」をご利用いただけよう施設を開放した。 ・10月より神奈川県社会福祉協議会「かながわライフサポート事業」を開始、生活に困難をきたしている援護を要する方々に対して支援を実施した。 	A	
							<p>①防災・防犯対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に新採用異動職員を対象とした消防設備・防犯設備のオリエンテーションを実施した。 ・防災訓練は、火災想定訓練を年7回、地震想定訓練を年5回実施した。 ・10月に千木良地区防災訓練に園及びグループホームの利用者・職員が参加した。 ・防犯訓練は、10月に相模原市役所の交通・地域安全課へ講師を依頼し、不審者への対応とさすまたの使用方法与と暴漢からの離脱方法を学んだ。また11月の法人総合防災防犯訓練では津久井警察署へ講師を依頼し、不審者対応訓練における検証と助言を受けた。 <p>②感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種やインフルエンザワクチン接種は、当園診療所で利用者・職員を対象に実施した。また外部事業所を利用する在宅障がい児者に対してワクチン接種を実施した。 ・園内感染防止対策の取組みとして、健康食生活安全委員会において感染症グッズの用意や感染症のパンフレットの配布を行い、職員の意識づけを実施した。また感染症の予防物品を定期的に確認、その後補充することで、夜間や休日でも物品の不足からくる蔓延を防げるよう対策を実施した。 	B	

3 基本施策の取組状況

(1) 法人全体

①理事会・評議員会の開催状況

理	回	会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
	評				
1		令和5年6月理事会	令和5年6月7日 13:00~15:00	希望の丘はだの 地域交流ホール 会議室 (オンライン併 用)	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身体拘束実施・改善取組状況 2 愛名やまゆり園への随時モニタリングの県結果と対応について 3 津久井やまゆり園の指定管理費の返還について <p><決議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度事業報告(案) 2 令和4年度決算(案)及び監査報告 3 役員候補者の提案 4 会計監査人の再任及び報酬 5 津久井やまゆり園における「かながわライフサポート事業」の実施について 6 諸規程の一部改正 7 令和5年度資金収支第1次補正予算(案) 8 令和5年7月1日付け幹部職員の人事異動等 9 定時評議員会の開催
	1	令和5年定時評議員会	令和5年6月28日 10:00~12:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併 用)	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度事業報告(案) 2 令和4年度決算(案)及び監査報告 3 身体拘束実施・改善取組状況 4 愛名やまゆり園への随時モニタリング結果と対応 5 津久井やまゆり園の指定管理料の返還

回	理 評	会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
					6 津久井やまゆり園の管理に関する基本協定の締結 7 津久井やまゆり園における「かながわライフサポート事業」の実施 8 令和5年7月1日付け幹部職員の人事異動等 <決議事項> 1 役員の選任 2 令和5年度資金収支第1次補正予算(案)
2		令和5年6月臨時理事会	令和5年6月28日 12:00~12:15	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<決議事項> 1 理事長、常務理事及び支援改善担当理事の選定 2 評議員選任・解任委員の選任
3		令和5年9月臨時理事会	令和5年9月7日 13:30~14:30	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告及び協議事項> 1 厚木精華園の利用者虐待及び県の随時モニタリング、並びに改善計画
4		令和5年11月臨時理事会	令和5年11月5日 16:00~17:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 愛名やまゆり園職員の利用者への暴力による逮捕 2 愛名やまゆり園職員の利用者への暴力による逮捕に係る当面の対応方針(案)
5		令和5年11月理事会	令和5年11月8日 10:00~12:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 令和5年度事業計画の上半期の取組状況 2 厚木精華園の利用者虐待に係る改善計画等 3 秦野精華園秦野市障害者日中サービスセンターにおける虐待 4 「身体拘束等行動制限をしない為の指針」の制定及び身体拘束等行動制限取扱要領の一部改正 5 かながわ共同会人権フォーラム2023の開催

理	回	会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
	評				
					<p>6 県立障害者支援施設の方向 <決議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 評議員候補者の推薦 2 評議員選任・解任委員会の開催 3 役員賠償責任保険契約の締結 4 津久井やまゆり園の管理に関する基本協定の変更 5 厚木精華園及び愛名やまゆり園の相談支援事業所の統合 6 諸規程の一部改正について 7 令和5年11月評議員会の開催
	2	令和5年11月評議員会	令和5年11月28日 15:00~17:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 愛名やまゆり園職員の利用者への暴力による逮捕 2 厚木精華園の利用者虐待及び県の虐待モニタリング、並びに改善計画等 3 秦野精華園秦野市障害者日中サービスセンターにおける虐待 4 令和5年度事業計画の上半期の取組状況 5 津久井やまゆり園の管理に関する基本協定の変更 6 「身体拘束等行動制限をしない為の指針」の制定及び身体拘束等行動制限取扱要領の一部改正 7 かながわ共同会人権フォーラム2023の開催 8 県立障害者支援施設の方向 <p><決議事項></p> <p>厚木精華園及び愛名やまゆり園の相談支援事業所の統合</p>
6		理事会報告	令和5年12月14日	書面報告	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 愛名やまゆり園利用者への暴力事案検証委員会の設置
7		令和5年12月臨時理事会	令和5年12月21日 14:00~15:00	希望の丘はだの 地域交流ホール (オンライン併用)	<p><決議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 愛名やまゆり園生活1課における利用者虐待事案

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
8		令和6年2月臨時理事会	令和6年2月27日 16:00~17:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<決議事項> 1 監査の実施結果
9		令和6年3月理事会	令和6年3月7日 13:00~15:00	希望の丘はだの 地域交流ホール (オンライン併用)	<報告事項> 1 愛名やまゆり園元職員による利用者虐待 2 障がい者相談支援事業受託料に係る消費税修正申告による追加納付 3 令和6年4月1日付け幹部職員の人事異動等 <決議事項> 1 津久井やまゆり園、芹が谷やまゆり園、愛名やまゆり園及び厚木精華園の指定管理料の返還に係る協定の締結について 2 令和5年度資金収支第2次補正予算(案) 3 令和6年度事業計画(案)及び令和6年度資金収支当初予算(案) 3 諸規程の制定及び一部改正 4 令和6年3月評議員会の開催
	3	令和6年3月評議員会	令和6年3月26日 15:00~17:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 監査の実施結果(愛名やまゆり園虐待事案) 2 津久井やまゆり園、芹が谷やまゆり園、愛名やまゆり園及び厚木精華園の指定管理料の返還に係る協定の締結 3 障がい者相談支援事業受託料に係る消費税修正申告による追加納付 4 令和6年4月1日付け幹部職員の人事異動等について <決議事項> 1 令和5年度資金収支第2次補正予算(案) 2 令和6年度事業計画(案)及び令和6年度資金収支当初予算(案)

②施設・設備整備等

ア 秦野精華園

法人施行
居住棟 1.2 階錠前交換
直居住棟・ひびたオペレーター修繕
外部汚水配管つまり修繕
居住棟オペレーター修繕
排煙濃度計修繕
扉修繕
居住棟 1 階居室レール交換
通所食堂水栓修繕
居住棟 2 階洗面所修繕
居住棟 2 階居室扉主膳
各所水回り修繕
裏門センサー配管修繕

イ 希望の丘はだの

法人施行
屋上給湯器修繕

ウ 厚木精華園

法人施行	県施工
管理棟地階調理室プレハブ冷蔵庫サイクル交換工事	管理棟 3 階・地階及び体育館ファンコイルユニット他空調機更新
浄化槽フロートスイッチ交換	受変電設備更新工事
居住棟 2 階ドアハンドル修理工事	直流電源装置更新工事
敷地内立木剪定作業	(以下、余白)
居住棟 1 階 トイレ修繕工事	
管理棟地階空調機ベルト交換工事	
管理棟 1 階配膳室排水管工事	
管理棟 1 階・居住棟 1 階ガス乾燥機更新	
管理棟地階排気ファン修理工事	
管理棟地階オイルギアポンプ交換工事	
管理棟地階調理室ガス立体炊飯器更新	
管理棟 2 階サーバー修理	
温冷配膳車ドア修理	
管理棟地階給湯循環ポンプ修繕	

エ 愛名やまゆり園

法人施行	県施工
生活2課みずも寮 トイレ配管工事	冷却設備更新工事
生活1課 機械浴ストレッチャー修繕	給湯循環ポンプ更新工事
蒸気ヘッダーバルブ修繕	和便器から洋便器への交換工事
消防設備更新工事	見守りカメラ機能拡張工事
生活2課みずも寮 天井リフト修繕工事	(以下、余白)
自動血球計数CRP測定装置修繕	
生活1課こだま寮 トイレ詰まり除去工事	
生活2課せせらぎ寮 トイレ詰まり除去工事	
歯科 診察台修繕工事	
プレイルーム 壁紙貼替工事	
ボイラーマグネットスイッチ等修繕工事	
地域サービス棟 電気温水器修繕	
WiFi 拡張工事	

オ 津久井やまゆり園

法人施行	県施工
生活1課 はくちょう ガラス交換 6箇所	生活1課 はくちょう 居室修繕工事
厨房棟 水栓交換	生活1課 ひばり 居室修繕工事
防犯カメラレコーダー交換	(以下、余白)
管理棟トイレ ガラス交換	
冷温水ポンプ グランドパッキン交換	
生活1課 支援室 ドアノブ交換	
生活3課 めじろ 前室 扉交換	
管理棟 活動室 ガラス交換	
生活1課 はくちょう 食堂造り付け棚修繕	
生活1課 はくちょう 食堂壁修繕	
生活1課 はくちょう リビング壁修繕	

③人権目標と取組内容

※法人人権委員会の主導により、令和5年度は人権自己チェックリストを6～7月に実施した。実施結果を踏まえて重点的に取組みが必要な項目等を報告し、各園の委員会で人権目標の変更、付け足し等を行い、意識の改善、実行等を促した。（令和5年度2回目の人権自己チェックリストは、「虐待（暴力）行為にかかる支援の振り返り調査」を法人全体で実施したことにより、実施を見送。）

●人権委員会・虐待防止委員会等の開催

	人権委員会、利用者自治会	虐待防止委員会
法人	人権委員会 4回	—
秦野・希望	人権研修委員会 6回	12回
	利用者自治会 6回	
厚木	人権委員会 12回	12回
	利用者自治会 12回	
	オンブズマン相談会 12回	
愛名	人権推進委員会 12回	15回
	オンブズマン相談会 10回	
津久井	あおぞら委員会 11回	12回
	利用者自治会 12回	

ア 秦野精華園・希望の丘はだの

年月	月間目標	取組内容
令和5年 4月	明るい挨拶・丁寧な言葉遣いをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉遣いはもちろんのこと、「相手に伝わるように話すこと」を心がけました。 ・相手の目をみて笑顔で挨拶をするように心掛けました。 ・丁寧な言葉遣い、プラスの言葉かけは相手を尊重していることになると思い、心がけています。
5月		
6月	ていねいなことばがけをこころがけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧な言葉掛けをこころがけたいです。声のトーンや表情なども気を付けたいと思いました。 ・丁寧な言葉遣いを意識しましたが、その時によっては声のトーンが大きくなってしまいました。
7月		
8月	利用者さんの良さ（良いところ）を見つけよう	・沢山コミュニケーションを取ることで新たな一面が見えたり、情緒を乱している利用者を気にしてく

年月	月間目標	取組内容
9月		<p>れたり、またそれを職員間で共有することでまた違った一面がわかったりいいことづくめでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一見、「問題行動」と思われたことも、見方を変えると、それが本人の「良いところ（＝ストレングス）」と捉えることもできたりするので、職員同士での意見交換はとても大切だと思いました。
10月	いつも笑顔で接していますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・注意をする際にも笑顔で優しい言葉がけを意識しました。 ・会話の最後にも笑顔で終われるよう心がけた。 ・マスクで笑顔が伝わっていない事があったので目元笑顔が伝わる様に意識をしました。
11月		
12月	利用者の変化に気づいていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・「普段の様子」が分かっているから「普段と違った様子」にも気づける。「日頃の観察」が大切だと思います。 ・意思を伝えるのが、難しい利用者に対して、普段の行動等しっかり見ながら、職員側から提示して伝えました。 ・歩き方など体のバランスや表情の変化に日々注意している。
令和6年1月		
2月	利用者に聞かれていませんか？個人情報の取り扱いに気を付けよう。適切に情報提供をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員室内の私語も外に聞こえていることがある。支援員室内も公のスペースであると意識し、声のボリュームや話す内容に配慮しました。 ・ドライブの日程についてボードに「ある」「なし」のクリップを作成し、提示することにより利用者の関心がある情報を適宜提供した。当日の「活動」についてもボードを活用することを検討しました。
3月		

イ 厚木精華園

年月	月間目標	取組内容・意見
令和5年4月	「笑顔で挨拶。生き生きとした毎を送れるよう支援しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクをしている為、表情よりも明るめのトーンで挨拶を意識して行なった。利用者さんからも明るい声で挨拶が返って来た。 ・笑顔で挨拶する事で利用者の反応を確認出来た。利用者の情緒の様子が分かり情緒に合わせた支援に繋がられた。 ・握手しながらなど暖かみを意識して挨拶をした。
5月		

年月	月間目標	取組内容・意見
6月	「気候に合った服装・身だしなみを心がけましょう」	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤明けの起床支援で、洋服に着替える時に何着か準備し、ご本人に選んでもらった。 ・利用者の手や体に触れて体温を確認した。 ・空調をきかせている時は、薄手のカーディガンなどを羽織ってもらった。
7月		
8月	「人権について考えよう」 本人の気持ちが一番大事ですが、実際は何が優先されていますか？また、意見が皆違った場合はどうしますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の気持ちに寄り添っているつもりでも、実際は忙しくてすぐに出来ない時もあるので、その時は時間をおいてから対応するようにしている。 ・何が最優先なのか考え、本人の気持ちを考慮しつつ（声に出して）行なうべきことを行った。 ・全体で何かを行う場合、多数決をする事が多いが、少数の意見も別の機会に取り入れられるように配慮する必要を感じた。
9月		
10月	「いろいろな選択肢を提供。意思決定できるよう一緒に考えよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・何でも良いと言っていた利用者が、何度も聞くことで選べるようになった。 ・各利用者の私物購入など、Amazonでのネット購入を利用することで、パソコン上の画面で本人希望の物品を購入出来た。 ・話せない方は表情や顔の動き、目の開きなどを観察しながら支援しているが、時間を要するため、他の支援に支障をきたす場合がある。
11月		
12月	「にやりホッと瞬間を見つけてみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんが色んな歌を歌えて、にやりとした。 ・コミュニケーションの難しい利用者が笑顔と「グー」ポーズを送られた際、笑顔と「グー」ポーズで答えられた。 ・意外な一面や本人の嗜好を知ることが出来た。 ・新しく購入したものを嬉しそうに職員に報告している様子を見た時。
令和6年1月		
2月	「日々の関わりの中で利用者の気持ちに寄り添いましょう」	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のニーズにあわせ、聴き取りをして行動した。また、表情を見て、気持ちを汲み取り、場面転換など提供した。 ・日中活動で個別対応(キャッチボール・ペグ挿し・塗り絵等)を行ない、利用者の希望に応えたり、一緒に付き添いながら活動する事で利用者に向き合い、気持ちに寄り添えるような支援をおこなえた。
3月		

ウ 愛名やまゆり園

年月	月間目標	取組内容
令和5年 4月	焦らず丁寧な対応と言葉遣いを心掛けましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・第3者がいても違和感の無い声掛けや対応を心掛けるように意識できた。 ・「言葉遣いと支援は写し鏡である」と再認識できた。 ・丁寧な言葉遣いを意識する事で、気持ちに余裕が生まれ自然と丁寧な支援を行う事につながった。
5月		
6月	いつ出掛けても大丈夫。身だしなみに配慮しましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・寮入口の開錠が当たり前になっていくなか、園内、園外で違和感のない身だしなみができるよう配慮することができた。 ・歩行など屋外での活動について、寮内との気温差などを再確認できた。
7月		
8月	一日の支援を振り返り、明日の支援に活かしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の支援について、PDCAを意識して取り組めるようになった。 ・チームで振り返る際のよい切っ掛けとなった。
9月		
10月	違和感を抱いた時に伝えよう 見て見ぬ振りも不適切	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切支援や虐待の芽を早期に摘み取るために役立った。 ・その場でタイムリーに伝えられなくても、会議での検討や上司への報告につなげられるようになった。
11月		
12月	ひとりでやろうと思わずに 助けてほしいと言う 勇気	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて応援要請を行うことにより、ストレスの軽減やアンガーマネジメントにつながった。 ・言うことについて勇気が必要となることもあるため、負荷の掛かりそうな場面では周囲から助けが必要かどうか慮って声をかけられた。
令和6年 1月		
2月	モチベーション みんなの力で育もう	<ul style="list-style-type: none"> ・課員、寮長主任、課長、部長、園長という階層のそれぞれの立場で、今自分に何が出来るのかを考える機会となった。 ・虐待事案の連続や欠員という中で、自分自身やチームのために工夫することにつながった。
3月		

エ 津久井やまゆり園

年月	月間目標	取組内容
令和5年 4月	利用者の個々の障害を理解し、個人として尊重します。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性を配慮してカード支援を行った。 ・コンサルを迎えて様々な試行を検討し、新しい余暇課題やカード支援の拡充を図った。 ・行った支援を記録に残してチームとして障害の理解や個人の尊重につなげる支援を行った。
5月		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を実現させることを念頭に、本人のペースを待つ、本人の成長をともに喜ぶ姿勢で支援にあたっている。 ・利用者個々の特性に合わせて、文字やイラストなどご本人に伝わりやすい方法で伝えた。 ・否定からではなく肯定的な態度で他者とつながることが大切との観点からストレングスの視点で支援するよう心掛けた。
6月	個人の嗜好を尊重します。	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の時間に飲む飲み物について個々に確認をしながら希望する飲み物の提供を行った。 ・ご自分で選んだ洋服を着てもらえるよう様々なものを準備して選択してもらった。 ・食事の際の好き嫌いや補食についてご自分で用意して頂いて提供した。
7月		<ul style="list-style-type: none"> ・食事の選択など写真を活用して視覚的なアプローチを行った。 ・活動の内容を本人に選択してもらうことを続けることで本人の好きなことややる気の維持につながりました。
8月	プライベートな時間と空間を保証します。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を聞きながら個別に対応する機会を確保しました。 ・居室の環境整備を行うことで居室で好きなことをして過ごすことができるよう支援しました。 ・話の内容によって、みんなで楽しく話をする場面と個の空間を大切にする場面を使い分けるよう支援した。
9月		<ul style="list-style-type: none"> ・居室の清掃なども本人の生活スタイルを尊重して本人に確認をしながら一緒に片付けを行うよう支援した。

年月	月間目標	取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に予定をわかりやすく伝えることで自分の好きなことをする時間を保証するよう支援しました。 ・個室で過ごしている際などはあえて声掛けせずに本人の様子を確認しながら適切なタイミングを見て声をかけるよう支援しています。
10月	利用者の希望、選択、決定を尊重します。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや写真を使って本人の意思を確認する支援を行うことで本人の訴えが希望に合致しているかを確認した。 ・生活の様々な場面で選択、決定を行うことで経験を積み重ねてもらえるよう支援しました。 ・支援者の最善の提案ではなく利用者の表情や前後状況などからそれぞれの希望をくみ取り、その選択や決定を大切にするよう支援した。
11月		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援の中で自身の思いが伝えられるような方法を獲得してもらうことで本人の希望や選択、決定を理解できるよう支援しました。 ・利用者の希望をすぐに叶えていくことで自身の思いが叶うとの理解をして頂いて、思いを出してもらうよう支援しました。 ・出来ること、出来ないことなどいろいろな体験をしてもらうことで興味のあることを見つけてもらえるよう支援しました。
12月	利用者本人に関する話し合いへの参加を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議への出席や個別に個別支援計画に関する聞き取りなどを行い、本人に関することを自身が決めることができるよう支援しました。 ・会議などへの参加も長時間は難しいので会議の前後の時間を使って短時間で本人に伝えるよう支援しました。
令和6年 1月		<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議などへの利用者の参加やわかりやすい情報提供を行うことで参加しやすい環境設定を行いました。 ・ご家族を交えて本人の話聞く機会を作ることで話しやすい雰囲気話していただくようにしました。

年月	月間目標	取組内容
2月	個々の利用者に合わせ、わかりやすく情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の帰宅の予定などをカレンダーに書き込んで予定を提示して見通しを持ってもらえる支援を行いました。 ・言語を理解していると思われている利用者に対しても本当にわかっているのかという観点から写真や絵を併用して情報提供を行いました。
3月		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりわかりやすい情報は違うので日々の様子の記録やアセスメントを繰り返し行うことで分かりやすい情報提供の仕方を考えている。 ・短い言葉と写真やイラストをマッチングしていくことで理解してもらえるよう支援しました。また、そういったツールを使用して利用者からの意思表示につながられるような支援を行いました。

④人権・権利擁護に関する研修等実績

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
法人全体	R5. 5. 19	階層別研修（中堅）	企画研修課長	287名
	R5. 6. 2	虐待防止研修		
	R5. 6. 16	「障害者福祉施設、障害福祉サービス事業所における障害者		
	R5. 6. 23	虐待防止法の理解と対応」		
	R5. 7. 7	（障害者虐待防止法・虐待の定義・虐待を受けたと思われる障害者を発見した場合の通報の手順・身体拘束をやむを得ず実施する場合の三原則・風通しのよい職場づくり）等		
	R5. 7. 14			
	R5. 8. 4			
	R5. 8. 25			
	R5. 9. 22			
	R5. 9. 29			
	R5. 10. 27			
	R5. 11. 2			
	R5. 2. 6			
R5. 2. 9				
サポーターズ・カレッジ 動画視聴	階層別研修（中堅・フレッシュマン） 「障がい者虐待とは」 「障がい者虐待は何故おきるのか」 「虐待事案に正しく対処する」 「自閉症の支援について」 「ノーマライゼーションと自己決定」 「強度行動障害とは」 「なぜ強度行動障がいになるのか」 「福祉施設と地域活動」 他	サポーターズ・カレッジ 山内 哲也氏（他） （動画視聴）	動画再生回数 1,608回 （研修報告書提出数）	
R5. 7. 21 R5. 12. 15	成年後見制度研修 「事例で学ぶ成年後見制度」 「財産管理のリスクと公的支援～成年後見制度と日常自立支援事業～」	NPO 法人 総合福祉サポートセンターはだの 成年後見担当 山中 啓子氏	47名	

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
	R5. 8. 29	フレッシュマン研修 「共にささえあい生きる社会をめざして ～津久井やまゆり園の取り組み～」	津久井やまゆり園 園長	7名
	R5. 9. 21 R5. 12. 1	ケースワーカー・相談支援専門員研修 ①「当事者からみた障害福祉と相談支援専門員に期待すること」 ②「横浜市の自立生活サポート事業について」	①ピアサポーター・相談支援専門員 猿渡 達明氏 ②あおば地域活動ホームすてっぷ 山村 太陽氏 社会福祉法人ル・プリ 板倉 歩美氏 横浜市緑区生活支援センター 畑 宏樹氏	40名
	R5. 11. 13	これからの未来の支援を考える 障がい福祉研修 障がい当事者の方から支援者に伝えたいこと 「虐待をされた気持ちを知ろう あなたならどうする」	にじいろでGO! 会長 奈良崎 真弓氏	29名
	R5. 12. 18	権利擁護・虐待防止特別研修 「障害のある人の人権 障害者権利条約を羅針盤に 職員一人ひとりに問われること」	NPO 法人 日本障害者協議会 代表 藤井 克徳 氏	79名
	R5. 4. 3 R5. 10. 2 R6. 1. 4	新採用研修・採用前研修 「虐待防止・あおぞらプラン」、 「人権・権利擁護について」	人材企画部長 企画研修課長	6名

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
秦野精華園 希望の丘は だの	R5. 12. 7 ～R6. 1. 30	虐待防止研修 (常勤、臨任職員、非常勤職員)	支援部長	9回 延べ 86名
	R5. 4 ～ R6. 1	サポーターズ・カレッジ 「障害者虐待の基礎」 「支援者の虐待を防ぐ」 「虐待事案に正しく対処する」 等	山内 哲也氏 (他)	8回 延べ 49名
厚木精華園	R5. 6. 7 ～8. 31	虐待防止研修 (常勤・臨任・非常勤)	支援部長 地域支援部長	7回 延べ 65名
	R5・9	栄養調理課非常勤研修	サポーターズカレ ッジ合同視聴	11名
	R5. 9. 21	特別研修 「虐待防止のメカニズム」	日本福祉大学福祉 経営学部教授 綿 祐二氏	31名
	R6. 3. 9	A ネット(あつぎ福祉ネットワー ク) 研修会 「意思決定支援のさらなる充実 にむけて」	淑徳大学 鈴木俊彦副学長 当園職員発表	厚木市内 事業所
R5. 10. 17 R6. 3	「神奈川県意思決定支援ガイド ライン研修」	神奈川県	7名	
愛名 やまゆり園	R5. 6. 22 ～7. 11	虐待防止研修 (常勤・臨任・非常勤)	支援部長 地域支援部長	4回 延べ 74名
	R5. 6. 22 R5. 6. 30	非常勤研修 「人権擁護について」	園長 支援部長	38名

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
	R5. 5 ～R6. 3	コンサルテーション事業研修	外部講師	119名
	R5. 10. 25	意思決定支援	意思決定支援推進 担当職員	30名
津久井 やまゆり園	R5. 10. 12	アンガーマネジメント研修 「アンガーマネジメントで福祉 職員は救われるのか」	津久井やまゆり園 職員	26名
	R5. 11. 15	「改正障害者差別解消法に係る 説明会」	内閣府 (動画視聴)	3名
	R5. 11. 28	「尊厳とは」	育央福祉会 佐野 良氏	24名
	R5. 9. 12 R5. 9. 14	非常勤研修 「虐待防止と意思決定支援」	支援部長	57名
	R6. 3. 14 R6. 3. 22	非常勤研修 「障害特性と支援について」	地域生活支援課 主任	38名

●強度行動障害支援者養成研修受講状況（令和6年3月31日現在）

(名)

園	基礎研修	実践研修
秦野・希望	7 (36)	2 (14)
厚木	1 (45)	0 (21)
愛名	3 (52)	0 (9)
津久井	8 (70)	2 (18)

※ () は現時点での資格所持者数

●喀痰吸引研修受講状況（令和6年3月31日現在）

（名）

区分	厚木	愛名	津久井	計
対象者	4	2	0	6
指導看護師	5	5	2	12
第三号研修	60	31	0	91
第一・第二号研修	1	1	0	2

※指導看護師：介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業（指導者講習）を修了した看護師

第三号研修：指導看護師等による講義、演習等の一定の研修を受け、特定の者に対し医療的ケアを行うことができる。

第一号・第二号研修：国が実施する研修(委託)を受講することにより、不特定多数の者に対し医療的ケアを行うことができる。

⑤利用者自治会の取組み

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園
名称	利用者自治会	厚木精華園 ひまわり会	各セクションでの名 称	ピザの会
活動日	セクションごとに定 期開催	月1回	・毎月各セクション ・1月より3回全体 会開催	月1回
活動内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・役員総選挙 (2年に1度) 令和5年度に 実施 ・役員定例会 2か月に1回、人 権研修委員会と一緒 に開催 ・本人部会参加 ・自治会総会 ・園イベントへ出店 ・市内一斉美化デー 参加 ・宿矢名自治会 資源回収協力 ・第三者委員との面 会 ・利用者勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課にて毎月自治 会を開催。 ・誕生月の方のお祝 い。誕生会のケー キを注文、購入。 ・利用者からの要望、 意見集約。 ・食事メニューの希 望 	<ul style="list-style-type: none"> ・各セクションでの 自治会等の開催は 月1回開催。1月 より利用者自治会 ○△□会発足。各 月開催利用者から の要望・苦情等を 毎月の人権推進委 員会に報告/検討 し、改善に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・意見要望の集約 ・神奈川県や園から のお知らせ、提案 事項に対する議決 ・他当事者団体との 交流 ・オンブズパーソン への相談 ・オンブズパーソン との個別の関り (散歩等) ・各ユニットでの自 治会や意見箱への 投書で挙がった 『やってみたいこ と』の企画と実行
役員構 成	会長1名 副会長2名 書記・会計1名	会長1名 副会長2名	設定なし	会長1名 副会長3名 会長副会長は選挙に て決定する。

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園
今年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あおぞら意見交換会 zoom 参加 ・自治会総会 今年度実施なし ・園イベントへ出店 お楽しみ会で出店 ・市内一斉美化デー参加 ・宿矢名自治会 資源回収協力 3回実施 ・第三者委員との面会 1回実施(1月) ・利用者アンケートの実施と集計 ・園との話し合い 「障がい」の表記について自治会役員が意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問販売(年2回) 6月・12月に実施。 ・ラ・フェスタ、長寿の祝い、夏まつり等行事の際の進行や挨拶 ・厚木地区の利用者研修会に参加(7、12、2月) ・3月に全体会を実施。 ・誕生会ケーキを平日に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・各セクションで苦情/要望の収集機会を設けた。他に日々随時要望を記録(ニーズ)し、集約した。毎月の人権推進委員会/虐待防止委員会に報告/検討し、改善に繋げる。全体で集まる利用者自治会○△□会を発足。利用者の声を聴く機会の拡大。園運営に反映していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ピザの会(毎月) ・7月・11月・2月にオンブズパーソン、5月に第三者委員、8月・10月・2月に神奈川県職員が参加 ・なかみせ移動販売(毎月) ・実施要領一部改正(4月) ・出張プリティカフェ(6・7・8・9・10・11・12・1・2月)月に2～3回実施 ・お花見会(3月)
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所において自治会開催 ・地域自治会資源回収、環境美化デーへの参加 ・園行事における協力 ・利用者アンケートの作成や職員人権目標の提案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自治会総会の実施 ・自治会規約の改定(自治会費、退会記念品等) ・役員選挙の継続 ・行事(夏まつりカラオケ大会の企画等。 <ul style="list-style-type: none"> ・綿菓子機、かき氷機の購入。 	<p>各寮、各課で利用者自治会等において夏、秋のお楽しみ会や各寮でのイベントで食べたいものやアトラクションなどの候補を挙げてもらい決定していった。また、各イベントでは利用者実行委員の選出などを決めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営への参画(運営会議に参加) ・納涼祭・園祭に実行委員として参加 ・園長との茶話会への出張プリティカフェの出店 ・津久井支援学校との交流(清掃活動 10・11月) ・千木良小学校との交流(ポニー乗馬 12月) ・地域で暮らす当事者の話しを聞く会(12月) ・地域自治会との交流(地域美化デーへの参加 年6回、子供神輿招待8月) ・当事者活動への参加(6・9月) ・相模湖地区社協配布ボランティア(年3回)

⑥地域における公益的な取組

ア 秦野精華園・希望の丘はだの

項目	事業	取組内容
相談支援	就労等基盤整備推進事業	就労支援（就労移行）は、6名の企業実習を実行し、各利用者のアセスメント取得を実施した。職場適応援助者と協力のもと、令和5年度には3名が就職している。 就労定着支援の利用者および3年間利用した後の利用者との関係継続の為に交流会を開催した。
	グループホーム等地域生活移行推進事業	令和5年度においても、当園ホーム利用者がコロナウイルスに感染する事が頻繁にあり、ホーム体験利用の受入れは消極的となった。ホーム見学と体験入居を希望の丘はだの利用者の2名、外部在宅者1名を受け入れたが、ホーム移転等の調整から利用には繋がらなかった。昨年度体験利用された2名の希望の丘はだの入所者については、4月1日付でホームでの生活を開始した。 希望の丘はだの入所利用者については、ご本人、ご家族や計画相談事業と関係者会議を実施し、それぞれが希望する秦野市、厚木市、南足柄市、平塚市にあるグループホーム見学と体験入居を調整、それぞれが入居を希望したグループホームで地域生活を開始した。
要支援者への生活支援	就労等基盤整備推進事業（再掲）	令和5年度当初、就労定着支援事業への登録者数は13名で、利用者と職場の調整や面談を実施し、職場定着の支援を継続した。就労移行支援の機能を令和5年度よりチャレンジセンターへ移したことで就労定着支援と一体化して運営している。
	通所体験	特別支援学校等からの通所体験は、8名の受け入れを実施。生活介護2名、就労移行支援5名、就労継続支援B型1名
	グループホーム等地域生活移行推進事業（再掲）	（相談支援の項に記載）
	地域生活移行推進事業	希望の丘はだの移行支援プログラムの一環として、当園グループホーム体験入居を2名実施したが、ホーム再構築計画の検討期間の為に受け入れにはつながらなかった。

項目	事業	取組内容
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	実施できず。
福祉教育支援	地域生活サポート人材育成事業	知的障害者ガイドヘルパー養成研修は、コロナ情勢のために令和5年度も休講とした。 中学校職場体験実習は、鶴巻中学より2名を受入れ。社会福祉士、保育士、教員課程実習受け入れ19名
	ボランティア育成事業	・令和の3年間新型コロナウイルス感染防止対策としてボランティアの受入れを中止していた。ボランティア希望者が単独での活動を希望する傾向にあり相互の関係構築に消極的であること等から秦野市社会福祉協議会のボランティア団体登録を令和5年度に辞退した。 ・今後個人参加のボランティアへの支援事業として事業の再構築を図りたい。
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	年2回（夏・年末）実施される防犯パトロールに参加していたが、コロナ情勢により中止。 秦野市環境美化デーは、各町内で設定された日程で参加し、町内美化に努めた。 大根地区自治会活動への参加として資源回収活動へ利用者自治会メンバーの参加を支援した。 大根地区新しい街づくり運動推進委員会、みんなの食堂☆広畑と連携協定書を取り交わし、令和4年6月よりみんなの食堂ラパニスを開店させ水曜日の朝食を、また11月より月に一度火曜日の夕食支援の継続的な活動を行い、令和5年度は安定的な集客が行えた。
災害支援	地域防災拠点施設事業	秦野市との「災害時における障害者の緊急受け入れに関する協定」に則り、福祉避難所物品を50名分受入れと保管を継続。緊急受入要請はなかった。 令和6年2月13日秦野市主催の「福祉避難所関係者による防災意見交換会」に希望施設長、総務部長が参加。秦野市内の福祉避難所利用対象者が1,260名いること等の情報を収集した。今後定期的な意見交換会が行われる模様で積極的な参加を予定。

イ 厚木精華園

項目	事業	取組内容
要支援者への生活支援	通所体験	愛川町援護地で、日中の過ぎしの場が途切れていた利用者の生活介護見学1回、体験1回を実施し、週2回の通所へ繋がった。
	地域生活移行推進事業	施設入所利用者グループホーム見学13回、外部生活介護事業所への見学・体験17回、外部就労B事業所への見学・体験12回
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	実施できず。
	コメディカルスタッフの派遣事業	実施できず。
福祉のまちづくり支援	成年後見制度促進事業	厚木市成年後見制度利用推進協議会への参画。
福祉教育支援	高齢者ケア支援事業	高齢者支援セミナーを8回、延べ122事業所参加。
	地域生活サポート人材育成事業	中学校職場体験実習は荻野中学校より3名を受け入れ。保育士・教員課程実習11名受け入れ。
	ボランティア育成事業	実施できず。
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	認知症高齢者を中心として、地域住民所有の畑での野菜栽培体験に年6回参加。(1回2名～4名参加) 地域施設での交流に向け定期的に情報交換を実施。
災害支援	地域防災拠点施設事業	福祉避難所に炊き出し器、簡易トイレ、非常食等防災用品を整備。 福祉避難所の役割を近隣住民にPR。

ウ 愛名やまゆり園

項目	事業	取組内容
相談支援	医療的ケア支援事業	相談件数：0件
	バックアップ推進事業	NPO 法人の共同生活援助事業所を1件バックアップしている。
要支援者への生活支援	通所体験	地域で暮らす知的障がい者に、通所を体験利用してもらい、適応した施設の選択を可能にする。 年間10人まで受け入れ。利用回数：2回。
	地域生活移行推進事業	施設や地域で生活している障害者に、グループホームの生活を知ってもらい、自分らしく生活できる機会を提供する。利用人数：5名。
	医療的ケア支援事業（再掲）	地域で生活している医療的ケアが必要な障害児者の地域生活をサポートするために、放課後等デイサービスを中心に受け入れるにあたり、必要な医療的ケアを実施したり、医療的ケアについて研修会の実施、見学等の受け入れを進める。相談件数：0件。
	短期入所体験事業	短期入所を利用予定の障害児者に、安心して利用できるよう、生活寮を日帰りで体験する機会を提供する。利用人数：10名／延べ日数27日。
法人資源を活かした支援	専門スタッフ地域巡回支援事業	専門職（臨床心理士、相談支援専門員、看護師等）を、地域の施設や学校に派遣し、障害者が安心して生活できるよう、サポートする。 応急手当普及員を作業所等へ派遣し、普通救命講習会を実施する。 心理検査等 回数／3回 福祉相談会 実施回数：0回／人数：0人 ケア会議 回数／21回 普通救命講習講師派遣 回数／0回
サービス利用料の減免支援	通所延長利用事業	通所利用後、家族の都合に合わせ、生活寮で延長利用を実施する。利用回数：0回
福祉のまちづくり支援	バックアップ推進事業（再掲）	（相談支援の項に記載）
	ネットワーク推進事業 取りまとめ	神奈川県域の5圏域にある地域生活ナビゲーションセンターの事業等を事務局として取りまとめ、圏域事業調整会議を2回開催した。園虐待事件後、一部圏域ナビから声があがり、県に相談した上で事務局を辞退した。
福祉教育支援	地域生活サポート人材育成事業	地域住民等にボランティア活動を推進するために、自己実現の場の提供し、ボランティアの育成を通し

項目	事業	取組内容
		て、地域とのつながりを、より一層深めていく。 (夏休み) ボランティア体験、ボランティア育成事業ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
	ボランティア育成事業	地域における障害者に対する理解の促進、並びに地域で生活している障害者の潤いとなる余暇活動を提供する。 近隣の保育園児が園内の畑で栽培した芋掘りを行った。(夏:ジャガイモ、秋:サツマイモ、参加人数合計21名) グループホーム前での交流事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じた上で実施した。七夕まつり:回数1回、参加人数35名 ハロウィンパーティー:回数1回、参加人数34名 愛名自治会の夏祭りに出店。事前準備、片付け、テント、椅子等貸出等協力した。
地域交流	地域移行推進事業、地域交流等支援事業	地域住民で一時避難場所の毛利台小学校に避難することが難しい方の避難場所として園の一部を使用することを、近隣の愛名自治会、厚木市危機管理課と話し合いを進め、新たな覚書等を締結することなく、現状厚木市と締結している「災害時等における避難行動要援護者の緊急受入れに関する協定書」での受入れを検討した。 水害時の一時的避難場所としての協力依頼が地域の民間保育園よりあった。県に相談し、令和5年11月1日に覚書を締結する。
	拠点施設機能育成事業	知的障害者の地域生活支援に関わる職員の人権擁護意識向上を図るための研修や介護技術の向上のための研修を、対象を広く地域住民も含め開催することを目的とする。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
災害支援	地域防災拠点施設事業	地域住民で一時避難場所の毛利台小学校に避難することが難しい方の避難場所として園の一部を使用することを、近隣の愛名自治会、厚木市危機管理課と話し合いを進め、新たな覚書等を締結することなく、現状厚木市と締結している「災害時等における避難行動要援護者の緊急受入れに関する協定書」での受入れを検討した。

エ 津久井やまゆり園

項目	事業	取組内容
要支援者への生活支援	チャレンジ活動	<p>「チャレンジ活動」を通して、法人内外のグループホームや外部の生活介護事業所の見学及び体験利用を積極的に行った。</p> <p>地域支援部「ファンファン」「そよかぜ」各事業所で、活動場所の選択肢の一つとして事業所案内をし、利用契約に結びついた方もいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○GH見学：9回 ○GH体験：9回 ○生活介護事業所見学：9回 ○生活介護事業所体験：11回 ○相模湖地区社協ちょこっとボランティア 契約数6件：実績15件 ○地域貢献（チラシ配り）：3回 ○津久井支援学校との清掃活動：2回 ○千木良地区運動会：8件 ○相模湖地区社協福祉のつどい：2件 ○音楽教室への参加（地域資源の活用）：3件 ○ちょこボラサポーター交流会：1件 <p>※全て延数</p>
	強度行動障害者に対する支援	在宅ケース（2件）に対して自閉症評価キットを用いてアセスメントし、関係機関へ情報提供等を行なった。
地域貢献	かながわライフサポート事業	令和5年10月より「かながわライフサポート事業」に参加し、生活に困難をきたしている援護を要する方々に対して、地域の各機関との連携により要援護者の発見に努め、その課題を解決するために迅速にきめ細やかな援助を行う総合生活相談機能を活性化することを目的に行った。相談4件、内対応3件
	すこやかサービス	応急手当普及員の資格を有する職員を、相模原市内の福祉事業所に派遣する「すこやかサービス」（一次救命講習）を13回開催した。
	講師派遣	強度行動障害支援者養成基礎研修および実践研修の演習講師として職員3名、実践報告1名を派遣した。
	一時避難所としての活用	令和5年度より当園を災害時の一時避難所として位置付け、地域の方々の避難訓練を実施した。

項 目	事 業	取 組 内 容
福祉教育支援	みんないいひと体験講座・福祉教室	市社協と連携し、市内中学校の教職員を対象とした園長による「みんないいひと体験講座」（福祉講座）を計3回開催した。また、千木良小学校4学年に来園いただき、福祉教室「ふれ合おう みんな仲間」を開催した。
	相模湖地区社会福祉協議会ボランティアセミナー	相模湖地区社会福祉協議会との共催において津久井やまゆり園でのボランティア活動を希望する方向けの「ボランティアセミナー」を開催した。16名が参加され園の紹介やボランティアのニーズについて説明を行った。

⑦各園の地域における活動・祭り・コンサート等実施状況

●各園の地域における活動

園	活 動 例
秦野・希望	自治会資源回収への参加（利用者自治会活動） 市内一斉美化清掃（利用者自治会活動）
厚木	地域の清掃活動、地域防災組織による防災訓練への参加 等
愛名	グループホームを拠点とした七夕イベント、ハロウィンパーティー 近隣保育園児に園内の畑の芋の収穫の場を提供
津久井	<ul style="list-style-type: none"> ・柳馬場自治会清掃への参加（6回） ・第8回「三ヶ木ほたる祭り」への参加 ・千木良地区納涼祭への参加 ・千木良中央こども神輿の来園と交流 ・柳馬場こども神輿の来園と交流、月読神社祭への出店 ・千木良地区運動会への参加 ・千木良地区防災訓練への参加 ・芹が谷やまゆり園「せりやまフェス 2023」への出店と参加 ・千木良小学校との交流（ポニー乗馬体験、クリスマスコンサート、かかし座、福祉教室） ・津久井支援学校との交流（ブルーベリー畑の管理、相模湖公園の清掃） ・すこやかサービス（地域事業所向けの普通救命講習）を実施 ・ちょこっとボランティアとして、相模湖地区社協の広報誌を利用者と職員が地域の事業所やお店に配布、また、依頼のあった民家の庭清掃を実施 ・相模原市役所での事業所販売会に出店 ・相模湖地区社会福祉協議会主催「福祉のつどい」にて出店 ・相模原市社会福祉協議会みんないいひと体験講座として、市内の中学校（3校）で教職員向けの福祉講座を実施 ・園の取り組みや「ともに生きる社会かながわ憲章」をテーマとした園長による講演会を11回開催 ・園に設置された「鎮魂のモニュメント」を活用した普及啓発に取り組むため県職員や民生委員等の団体を延べ25回見学受け入れ

●各園の祭り・コンサート等（外部に公開しているもの）

園	祭り・コンサート等
秦野・希望	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏の夕涼み会は利用者、職員のみとし、秋のお楽しみ会は家族も参加可として開催。
厚木	<p>6月劇団かかし座によるワークショップを園内利用者、職員で開催</p> <p>7月夏まつりについては園内利用者・職員で開催</p> <p>9月長寿の祝いについては家族を招待・参加</p> <p>10月ラ・フェスタについてはステージ出演者は外部(荻野中学校、地域フラダンス団体、寅次郎バンド) 家族、真弓自治会の参加</p> <p>11月ふれあいテラス「移動動物園」を園内利用者、職員で開催</p> <p>12月クリスマス会については園内利用者・職員で開催</p> <p>1月 新年会については園内利用者・職員で開催</p> <p>3月 春の宴については園内利用者・職員で開催</p>
愛名	納涼祭とあいなまつりは、ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設関係者のみとし、外部参加は全面中止。
津久井	<ul style="list-style-type: none"> ・5月～1月 劇団かかし座によるワークショップ(8回) 影絵を行っている様子を県のユーチューブで動画配信 ・6月にじいろでGOとの交流会 ・7月津久井やまゆり園事件追悼式 ・8月納涼祭 ・9月鎌倉女子大学佐藤ゼミとの交流会 ・9月アンリミテッドによる敬老の祝「バレエ発表」 ・10月ハッピーハロウィン in まつりだやまゆり!! ・11月追悼花火打上 ・12月雨宮知子さん Xmas コンサート ・12月鎌倉女子大学共生推進フォーラムで発表 <p>県庁で鎌倉女子大学の学生が取り組んだ、人形劇「どうぶつ学級の仲間たちⅡ」の発表</p>

⑧防災・防犯訓練の実施状況

ア 秦野精華園・希望の丘はだの

実施日	開始時刻	訓練内容
4月3日(月)	11:30	新採用・異動職員への消防設備等の説明
25日(火)	14:00	通報訓練: ALSOK 安否確認メール配信
5月29日(月)	14:00	通報訓練: ALSOK 安否確認メール配信
6月28日(水)	14:00	部分訓練: 地震発生想定訓練(シェイクアウト) 点呼連絡訓練
7月27日(木)	14:00	通報訓練: ALSOK 安否確認メール配信
8月29日(火)	16:00	消火栓・消火器取扱訓練
9月1日(水)	13:40	防災訓練: 法人総合防災訓練 MCA無線活用 避難誘導 点呼連絡訓練 炊き出し訓練 ALSOK 安否確認メール配信
9月3日(金)	18:30	部分訓練: GH基礎訓練(安全確保・安否確認)
10月23日(月)	14:00	部分訓練: 夜間想定訓練(火災) 避難誘導 点呼連絡訓練 職員応援訓練
11月24日(金)	14:00	法人総合防犯訓練 秦野警察来園 不審者侵入対応及び通報訓練 防犯カメラ確認訓練 MCA無線活用 利用者向け犯罪対策教育講座 通報訓練: ALSOK 安否確認メール配信
12月12日(火)	10:45	ひまわり火災想定訓練
12月27日(水)	14:00	部分訓練: 地震発生想定訓練(シェイクアウト) 点呼連絡訓練
1月30日(火)	10:45	ひまわり水害避難対応訓練 通報訓練: ALSOK 安否確認メール配信
2月26日(月)	14:00	総合訓練: 夜間想定訓練(火災) 初期消火・消防署他通報訓練・避難誘導 点呼連絡訓練
3月13日(水)	17:30	部分訓練: GH基礎訓練(安全確保・安否確認)
3月15日(金)	17:30	部分訓練: GH基礎訓練(安全確保・安否確認)
3月22日(金)	18:30	部分訓練: GH基礎訓練(安全確保・安否確認)
3月25日(月)	14:00	通報訓練: ALSOK 安否確認メール配信

イ 厚木精華園

実施日	開始時刻	訓練内容	担当課
4月3・4日	14:00	新採用・転入職員への防火防犯装置・消防設備等の説明	総務課
4月27日	13:40	通報訓練（消防署通報・園内放送）、避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活1課
5月19日	13:40	通報訓練（園内(模擬)通報・放送）、避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	日中支援課
6月19日	13:40	通報訓練（園内(模擬)通報・放送）、避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活2課
7月18日	13:40	通報訓練（園内(模擬)通報・園内放送）、夜間想定避難訓練、アルソックメール安否確認訓練	生活3課
8月10日	13:40	通報訓練（放送）、避難訓練（浸水害・土砂災害）	生活1課
9月1日	13:40	法人防災防犯訓練① シェイクアウト訓練、避難訓練、防災設備等の説明、アルソックメール安否確認訓練	日中支援課・総務課
9月25日	10:00	非常食炊き出し訓練	栄養調理課
10月24日	13:40	通報訓練（園内(模擬)通報・放送）、避難訓練、消火栓放水訓練、消火器を使用した消火訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活3課・総務課
11月24日	13:30	法人防災防犯訓練②不審者侵入時対応訓練 通報訓練（園内(模擬)通報）、避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活1課
12月15日	13:40	通報訓練（消防署通報）夜間想定避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活2課
1月19日	13:40	通報訓練（消防署通報、消防署、園内放送）、避難訓練	日中支援課
2月19日	13:40	通報訓練（園内(模擬)通報）、避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活3課
3月21日	18:30	通報訓練（園内(模擬)通報）、避難訓練 アルソックメール安否確認訓練	生活2課

ウ 愛名やまゆり園

実施日	想定時刻	想定災害	訓練内容
4月5日	14:00	職員研修	新人・異動職員を対象。消防設備・防犯設備についてのオリエンテーションを実施。
5月10日	14:00	火災	3課ゆのはな寮配膳室での出火を想定。初期消火、避難誘導訓練。
6月15日	14:00	火災	1課あおば寮配膳室での出火を想定。初期消火、避難誘導訓練。
7月10日	14:00	地震 火災	2課せせらぎ寮での出火（地震後）を想定。シェイクアウト、初期消火、避難誘導訓練。
8月15日	14:00	職員研修	消防設備・防犯設備訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため延期。通報訓練のみ実施。
8月16日	14:00	火災	厨房等での出火を想定。初期消火、日中支援課利用者の避難誘導訓練。
9月1日	13:30	地震	法人全体で実施した総合防災訓練。シェイクアウト、初期消火、無線機による緊急時の送信訓練。法人災害対策本部との連携訓練、備蓄倉庫、防災倉庫と、非常災害時物品の確認。
10月12日	14:00	職員研修	消防設備、防犯設備訓練。消火栓を使用した放水訓練の実技実施。
11月8日	14:00	火災	2課みずも寮配膳室での出火を想定。初期消火、避難誘導訓練。
12月12日	14:00	火災	3課やよい寮配膳室での出火を想定。初期消火、避難誘導訓練。
1月17日	14:00	煙体験	利用者、職員対象でスモークマシーンを使用しての煙体験を実施。
2月8日	14:05	地震 火災	管理棟給湯室での出火を想定。初期消火、通所利用者の避難誘導訓練。
3月7日	14:00	防災会議	防災計画の見直し。今年度の振り返りを踏まえ次年度への方向性を検討。

エ 津久井やまゆり園

実施日	想定時刻	想定災害	訓練内容
4月4日	9:30	職員研修	新人・異動職員を対象。消防設備・防犯設備についてのオリエンテーションを実施。
4月27日	14:30	火災	管理棟 1F 多目的室の電子レンジから出火を想定 初期消火、避難誘導訓練、人員点呼
5月29日	14:30	地震	震度5強の大規模地震発生想定。 シェイクアウト、通報訓練、避難誘導訓練、人員確認
6月20日	9:30	火災	1課うぐいすユニットキッチンからレンジから出火想定 初期消火、安全確保、所在確認、避難誘導、人員点呼
7月31日	9:30	地震	震度5強の大規模地震発生想定。シェイクアウト、建物亀裂による2階利用者外階段からの避難訓練、人員点呼
8月30日	13:30	設備確認、非常階段の実際の避難確認	委員中心に設備設置場所及び使用方法の確認、消火栓実際の使用方法確認、非常時階段を使つての2階歩行困難利用者の避難誘導の確認
9月1日	13:40	地震	法人全体による総合防災訓練。シェイクアウト、初期消火、無線機による緊急時の送信訓練。法人災害対策本部との連携訓練、2階歩行困難利用者の避難誘導の確認と実施、非常食準備、発電機使用方法の確認
10月31日	13:50	火災	管理棟 2F 給湯室のポットより出火想定 初期消火失敗、消防車出動要請（模擬）、避難誘導（体育館と職員駐車場の2カ所）、人員点呼
11月30日	13:30	地震	震度6強の大規模地震発生想定。 シェイクアウト、通報訓練、避難誘導訓練、人員確認
12月27日	9:30	火災	夜間の火災想定。初期消火、公舎職員の応援訓練、夜勤者及び警備員、公舎職員のみによる消火活動と避難誘導（主に2階利用者の避難誘導訓練）
1月31日	9:30	火災	生活3課きじユニットキッチンより出火想定 初期消火、安全確保、所在確認、3課のみ避難誘導、人員点呼
2月27日	9:30	火災	厨房より出火想定 初期消火、消防車出動要請（模擬）避難誘導（体育館と職員駐車場の2カ所）、人員点呼
3月17日	14:00	地震	震度5強の大規模地震発生想定。 シェイクアウト、通報訓練、避難誘導訓練、人員確認

カ 法人総合防災・防犯訓練の実施

東海地震や南海トラフ地震等の大規模地震の発生への対応として、法人では法人及び園ごとにBCPを策定し、これに基づく訓練を実施しているが、年間2回の実施について、法人全体で取り組むこととし、次のとおり実施した。

① 第1回法人総合防災・防犯訓練（メインテーマ：防災）

ア 日時 令和5年9月1日（金） 13：40～16：00

イ 訓練内容

・法人統一

安否確認メール送受信訓練（法人）法人職員610名中、436名の参加（71.5%）

防災無線通信訓練（法人） 防災デジタル無線にて各園と法人事務局との間の通信訓練。

・各園及び法人事務局

シェイクアウト訓練、災害対策本部設置訓練、炊き出し訓練、園内放送訓練、避難誘導訓練、無線交信訓練、非常食備蓄確認、発電機使用確認

② 第2回法人総合防災・防犯訓練（メインテーマ：防犯）

ア 日時 令和5年11月24日（金） 10：00～15：00（各園により時間が異なる。）

イ 訓練内容

・法人統一

安否確認メール送受信訓練（法人）法人職員611名中、369名の参加（60.4%）

・各園及び法人事務局

防犯機器使用訓練、不審者対応訓練、通報訓練、警察署員による利用者向け犯罪対策・座学

⑨-1 新型コロナウイルス感染症への対応状況

園	感染予防に対する対応状況
秦野・希望	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回ワクチン接種（268名） 7/6・7/8・7/13 実施（園内） ・第7回ワクチン接種（273名） 12/7・12/9・12/14 実施（園内）
厚木	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回 園内診療所にて接種 本体84名+GH22名 利用者 計106名 (10/10～10/31)
愛名	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回ワクチン接種（入所・通所） 106名 期間 6/9～6/27 ・第7回ワクチン接種（入所・通所） 109名 期間 11/7～12/5 延べ人数 215名 接種場所：神奈川リハビリテーション病院
津久井	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワクチン接種（入所・GH・外部事業所通所） 利用者 91名 期間 6/28・29・30 7/5・6・12・13 ・第2回ワクチン接種（入所・GH・外部事業所通所） 利用者 89名 期間 10/18・19・20・25・26・27・

⑨-2 新型コロナウイルス感染症BCPの作成状況

園	NO,	区分	BCP	備考
秦野	1	施設入所・生活介護・短期入所（秦野精華園）	完成	
	2	施設入所・生活介護・自立訓練・短期入所（希望の丘はだの）	完成	
	3	生活介護・就労移行 就労継続 B 型・定着（チャレンジセンター）	完成	
	4	共同生活援助	完成	
	5	生活介護・地域活動支援（ひまわり）	完成	
	6	相談支援事業所	完成	
	7	居宅介護事業所	完成	
厚木	8	施設入所・生活介護・共同生活援助	完成	
	9	生活介護（とまと）	完成	
	10	相談支援事業所	完成	
愛名	11	施設入所・生活介護・短期入所	完成	
	12	共同生活援助（あいなホーム）	完成	
	13	相談支援事業所（あいな相談）	完成	
	14	就労継続支援B型（しらゆり）	完成	
	15	生活介護・児童発達支援 （愛川町事業推進課）	完成	
	16	生活介護・日中一時（飯山地区日中活動支援センター）	完成	
津久井	17	施設入所・生活介護・短期入所	完成	
	18	生活介護（そよかぜ）	完成	
	19	共同生活援助（つくいホーム）	完成	
	20	放課後等デイサービス（みらい）	完成	
	21	生活介護（寸沢嵐）	完成	
	22	相談支援事業所（ライフ）	完成	

⑭家族会・後援会の開催状況

●家族会の開催

園	開催回数
秦野・希望	6回（土曜日開催）
厚木	7回（年間7回土曜日開催）
愛名	10回（原則毎月1回第三土曜日開催）4、8月中止
津久井	8回（年間8回土曜日開催）

●後援会の開催

園	開催回数
秦野・希望	6回（総会1回、役員会5回）
厚木	2回
愛名	1回
津久井	3回

⑮公正・透明な職場づくり制度運営状況報告

令和5年度における法人全体の情報提供処理の状況について、公正・透明な職場づくり推進要綱第16条に基づき次のとおり報告します。

(件)

情報提供件数	処理件数	未処理件数	備考
0	0	0	—